

舞鶴かまぼこPR

バス案内所内に「知ろう館」

舞鶴市内の五つのかまぼこ業者が加盟する「舞鶴蒲鉾協同組合」が十日、同市引土の京都交通西舞鶴駅前案内所内に、市民や観光客に魅力をPRする「舞鶴かまぼこ知ろう館」を開設し、オープンセレモニーが開かれた。特許庁の地域ブランドにも認可されている「舞鶴かまぼこ」のこだわりを紹介している。



かまぼこをPRするためJR西舞鶴駅前に開設された「舞鶴かまぼこ知ろう館」(舞鶴市引土)

パネル、石うす展示

市民有志が昨年、かまぼこの魅力を調べた活動がきっかけになり、同組合が「舞鶴の玄関口に案内施設を設け、より愛着を持ってもらおう」と企画した。京都交通などの協力で、バス待合所の中に約二十五平方メートルのコーナーを設けた。舞鶴独自の製法などを描いたパネルや、すり身を練り上げる石うすなどを展示している。

この日のセレモニーでは、同組合の高野真一代表理事が「夢を少

しでも実現に近づける施設ができた」とあいさつした。案内所の開学できる。
七時二十分ごろまで見
く午前七時半から午後
(川辺晋晃)

2009年(平成21年)4月11日付 京都新聞